

# 岡谷市議会 産業建設委員会 行政視察報告書

## 【総体事項】

1. 視察日程：令和5年11月14日(火)～16日(木)
  
2. 調査事項（視察先）
  - (1) トヨタ産業技術記念館（愛知県名古屋市）
  - (2) 鞍ヶ池公園民間活力導入事業（Park-PFI）（静岡県豊田市）
  - (3) （公益財団法人）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー（静岡県浜松市）
  - (4) Park-PFI 事業（城北公園）（静岡県静岡市）
  
3. 視察参加者委員

委員長	渡辺太郎
副委員長	藤森弘
委員	中島秀明
委員	笠原征三郎
委員	酒井和彦
委員	丸山善行

## 【視察地報告】

### 1. 調査事項

トヨタ産業技術記念館（愛知県名古屋市）

人口：約233万人 面積：326.46 km<sup>2</sup>

#### （視察事項）

トヨタ産業技術記念館は、かつて豊田紡織(株)本社工場であった発祥の地にある。豊かな社会づくりを目指すトヨタグループが、『研究と創造の精神』と『モノづくり』の大切さを、次世代を担う若い人々をはじめ、広く社会に伝え、内外の経済、社会の健全な発展に役立ててもらうことを目的に設立したものである。

貴重な赤煉瓦の建物を産業遺産として保存・活用し、近代日本の発展を支えた基幹産業のひとつである繊維機械と、未来へ発展し続ける自動車技術の変遷を紹介した世界のトヨタを垣間見ることのできる施設である。

展示は、環状織機、蒸気機関、パートナーロボットのバイオリン演奏、金属加工（鋳造、鍛造、切削）などがあり、特に、繊維機械館のG型自動織機、近代紡績機械、豊田式木製人力織機、豊田式汽力織機、ガラ紡機、糸紡ぎ等は、絹、綿、化学繊維へと変遷する繊維産業の歴史について、分かりやすく迫力ある展示がされている。

2. 視察日時 令和5年11月14日（火） 9：35～10：55

### 3. 参加者所感

- ・「油を差さなくてもよい車をつくれ」「失敗は心配するな、オレが引き受ける」という言葉は「研究の創造の精神」と「モノづくり」の大切さを次世代へと継承するトヨタマインドに感銘した。
- ・糸紡ぎの仕方を説明しながら実演をしていたので、より当時の作業光景がイメージできた。
- ・様々な西洋技術を取り入れながら、自動化を進めるだけでなく、機械に使用する原材料にまでこだわりを見せており、早くから機械に用いる材料の重要性を認識していたことが伺えた。

## 【視察地報告】

### 1. 調査事項

「鞍ヶ池公園民間活力導入事業 (Park-PFI) (静岡県豊田市)」

人口：約42万人    面積：918.32km<sup>2</sup>

(視察事項)

豊田市の郊外にあり、鞍ヶ池（かんがい池）を中心とした約95haの広大な面積にプレイハウスや牧場等の多様な観光施設を備えており、東海環状自動車道からのアクセスもできるハイウェイオアシス型の公園で、民間の活力を公園の運営に活用している。

鞍ヶ池公園は、遊具広場、動物園、植物園を備えた主に子どもの遊び場として昭和40年にオープンしたが、平成17年の愛知万博に伴い、大屋根広場等を整備して大人も楽しめる空間を備えた公園に改修した。

また、平成22年には東海環状自動車道のスマートインター整備によりアクセスの向上を図ることで利用日帰り圏の拡大を行ってきた。

これまで公園内の整備をすることで、公園の位置付けや利用者の拡大を図ってきたが、公園入場者の拡大には繋がっておらず、新たな仕組みや体制が必要とされていた。

Park-PFIの活用やDB方式（Design Built：設計施工の一括発注による公設・民間運営）により、民間活力とそのノウハウを導入したことで、これまで豊田市外からの入園者が58%であったのが、民間活力導入後には公園施設の市外からの利用者の増加が顕著になっている。

スターボックスによるカフェの運用や公園内のカーレーシングの開催等、公園の新たな魅力の創出に繋がっており、民間事業者のアイデアによるフォレストアドベンチャーは冬季でも人気がある。

民間活力の導入については、これまでの「公園の整備」という発想から「使う公園化」を目指して、複数の企業から成る『鞍ヶ池公園ミライプロジェクト共同企業体』を選定し、下記のスキームで令和元年から公園の管理運営に活用しており、コロナ禍においても、公園の入場者・利用者の増加に繋がっている。

公園全体のランドデザインでは、整備計画と公園のゾーニングは行政（豊田市）が行い、カフェ、サービスセンター、キャンプフィールドは民間提案を採用している。

2. 視察日時 令和4年11月14日(火) 13:00~15:00

### 3. 参加者所感

- ・岡谷市では、現在19都市公園(約62.9ha)を管理しているが、いずれの公園も開設から約20年以上が経過し、施設の老朽化も進行しており、今後、施設の更新・補修費用の増大が予想されている。現在岡谷市は「第2期岡谷市公園施設長寿命化計画」を推進しているが、公園のポテンシャルを高める取り組みが大きな課題であり、発想の転換が必要であると考えます。先進地の取り組み事例を参考に魅力ある公園づくりを進めてほしいと思う。
- ・指定管理者制度、Park-PFI、DB方式の三位一体での運営管理が見事に相乗効果をもたらしており、公園を活用した観光産業の先進事例としてうらやましい限りだった。
- ・岡谷市は指定管理のみに固執するのではなく、Park-PFIやDB方式をもっと積極的に活用して民間活力を導入すべきと思った。
- ・郊外型の都市公園施設の整備にあたっては、Park-PFIやDB方式等の民間活力の導入は、公園の持っている様々な可能性を拓くことがわかり、岡谷市の公園、特に、やまびこ公園、塩嶺公園、湖畔公園等の整備において検討していく価値があることを実感した。
- ・民間活力の導入にあたっては、市民の意見を聞くことが重要で、マーケットサウンディングや市民アンケート等により市民意見を反映していくことが必要であるが、公募に際しては、パブリックコメントは必ずしも必要としていないことも参考になった。
- ・鞍ヶ池公園は、指定管理とPark-PFIとDB方式をゾーンごとに対応しており、それぞれのメリットを活かした仕組みとした発想的な柔軟さが印象的だった。
- ・岡谷市は、冬季における対応が課題であり、民間事業者のビジネス面を考えると通年営業で採算の取れる仕組みとアイデアが重要になると感じた。
- ・収益重視のみならず、公園ユーザーの気持ちを考えた取り組みがなされ、入園が無料で、広大な園内で既存施設を有効活用しつつ、そのポテンシャルを活かした新しい魅力あふれる施設を整備し、自然景観を楽しみ、ゆったりとした時間を過ごせる心地よい佇まいを提供されていた。また、広大な敷地のため、移動手段に課題があったが、園内パークトレインをはじめ、次世代型モビリティを活用するなど、様々な諸課題を官民連携で取り組み、克服されていた。

## 【視察地報告】

### 1. 調査事項

「(公益財団法人) 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」(静岡県浜松市)

人口：約79万人    面積：1,558.11km<sup>2</sup>

(視察事項)

浜松・浜名湖ツーリズムビューローは、静岡県、静岡市、浜松商工会議所や地元企業からの出資による第三セクターの公益財団法人で、当初は会議の誘致や運営を支援する財団法人浜松コンベンションビューローとして平成元年に設立されたが、平成30年に『公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー』に改称されて観光に関する公益事業を行っている。

出資比率は、行政53%(静岡県・浜松市)、民間47%(旅行会社、宿泊施設等)で構成されており、理事会(8名)と事務局(15名)で運営を行っており、行政による負担金と委託金が財源の9割を占めている。

浜松・浜名湖ツーリズムビューローは、公益財団法人としているが、そのメリットとしては、税制上の優遇処置を受けられることと社会的信用度を高めることがあり、現在、250名(社)の賛助会員がいる。

事業については、「2022年度 海の湖観光戦略」に基づいた8つの観光戦略に沿った事業を7つのワーキンググループで行っている。

これまでは観光振興とコンベンションの誘致とをそれぞれ別の組織が行なっていたが、観光コンベンションによる産業振興とまちづくりを一体的に行うことで様々な事業を複合的、横断的に行うことが可能となった。

国内外の観光客及びコンベンションの誘致により観光コンベンションに関連する産業振興と観光まちづくりの推進を目的として、それまでの(財)浜松コンベンションビューローのコンベンション機能と浜松観光協会の観光機能とを統合した組織となっている。

2. 視察日時    令和5年11月15日(水)    9:20~11:30

### 3. 参加者所感

- ・岡谷市は、人口減少、少子化が顕著であり、移住・定住、交流・関係人口に対する取組は喫緊の課題である。自然、文化、歴史遺産等の観光資源を活用したブランド推進や、諏訪湖周サイクリングロードを積極的に活用する観光地戦略、岡谷ブランド推進計画の策定及び推進する組織体制の検討が早急に必要と感じた。
- ・浜松市は、これまでの観光客誘致目的の観光協会と、コンベンション等のMICE誘致を行なう組織とを一体化し、広範な観光関連事業を横断的に行なえる組織とし、様々な事業を連携して効果的に取組んでいける体制とした。岡谷市でも、諏訪湖サイクリングロードや諏訪湖スマートインターの開設というハード的な整備とともに、それらを効果的に活用するためのソフト面の充実に向けて、少なくとも岡谷市の地域資源（自然、公園、文化施設等）を一体的に活用していく体制が必要であり、岡谷市の今後の観光産業の振興のためには不可欠であると感じた。
- ・諏訪湖の活用に向けた体制について、まず2市1町で連携して諏訪湖を活用した様々な取組みを推進していくことが大事であると思った。
- ・地域活性化や観光振興を先導する組織として、DMOの先進事例や魅力を学ぶことができた。
- ・岡谷市において「湖周はひとつ」と考えるならば、諏訪湖を観光資源とする「公益財団法人諏訪湖ツーリズムビューロー」の設立や観光庁のDMO認定を考慮すべきと思った。
- ・国内外の観光客及びコンベンションの誘致、観光コンベンションに関する産業の振興と、観光のまちづくりの推進に、地域資源を最大限に活かした取り組みがなされている。中でも、地域の歴史から価値を見出し、今ある資源をブラッシュアップさせながら、資源をつなぎ合わせ、新たな価値を見出す取り組みは、大変に勉強になった。特に、諏訪湖に環境が近いことから、日帰りの体験商品の販売、ガストロノミーツーリズム、インバウンド、サイクルツーリズム等、同様の観光資源であることから、見習うべき点が多く、今後の地域資源の有効活用に向け参考としたい。

## 【視察地報告】

### 1. 調査事項

Park-PFI 事業（城北公園）（静岡県静岡市）

人口：約67万7千人    面積：1,411.93km<sup>2</sup>

（視察事項）

城北公園は、静岡大学跡地に昭和60年に開園した約6.1haの公園で、維持管理費は年間4,136万円、そのうち樹木の手入れが2,940万円を占めている。

城北公園が抱える課題解決のため、民間活力を導入する Park-PFI（公募設置管理制度）を静岡県内で初めて採用し、民間事業者のアイデアと資金により、再整備と適正管理を行う計画である。

Park-PFI は、都市公園において、飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する手続きで、事業者が設置する施設から得られる収益を公園施設に還元することを条件に、事業者には都市公園法特例措置がインセンティブとして適用される。特例は、設置管理許可が10年から20年になり、建蔽率は2%が12%へ、看板等の利便増進施設の占用物件が設置可能である。

公園再整備のイニシャルコストに関する資金モデルは、広場や園路等の公共部分の整備5千万円、カフェ等の収益施設整備1億5千万円とすると、市が全てを実施した場合は2億円になるが、この制度の活用により、公的資金は3千万円となり、残りは民間資金とし、公的資金の50%は国債の対象となるものである。

2. 視察日時    令和6年11月16日（木）    9：20～12：00

### 3. 参加者所感

- ・岡谷市では、公園利用者が減少傾向にあり、市民ニーズや地域の意見等を踏まえながら、より一層の魅力ある公園づくりが求められている。特に鳥居平やまびこ公園や湖畔公園はポテンシャルの高い公園であることから、早急に Park-PFI 等による活性化を検討する必要があると感じた。
- ・Park-PFI は、公園利用者にとって魅力のある「使う公園」とする公園整備に向けては効果的であるが、公園の特徴を踏まえて、その公募仕様の策定については十分な検討と市民意見の収集が必要であると思う。

- Park-PFI の導入は、民間資本と民間事業者の事業ノウハウの活用という点においてはメリットがあるが、公園の公共性から公平性という部分では十分な配慮が必要である。民間事業者の公園に対する公共的な貢献を、どの様に担保しつつ、事業者のビジネス活動を行なっていくのか、そのバランスと調整が重要になってくると思う。
- 岡谷市で Park-PFI の導入による再整備を行う場合は、やまびこ公園等郊外にある公園や諏訪湖周の湖畔公園等に可能性があると思う。今後、サイクリングロードの完成に伴った公園の整備に活用ができるのではないかと考える。
- 駐車場の整備にあたり、枯れている樹木だけを伐採する計画を作成・提示するなどかなり配慮されていたが、それでも反対運動があり、街中にある公園は現状変更がより難しいと感じた。
- 街中にある公園は、特有の様々な課題・問題が起こることが分かった。特に、市民生活に溶け込んだ公園の場合、公園周辺の市民の愛着・思いが強く、周辺の市民意見と、周辺市民以外の市民意見が真逆の内容も多く、市民意見の集約をどのように進めていくか、事業実施する施設の場所によっては、思うような事業の実施が進まないことも見受けられた。また、より付加価値を高めるため、周辺事業との連携をとり、回遊性のある事業を行うことで、来街者の増加による地域活性化に取り組まれていた。
- Park-PFI の導入は、管理運営費の削減、観光資源の創出、賑わいあるまちづくりの創出等様々な効果があると思う。